愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	キャリア基礎		
担当者(Instructors)	小川 現樹	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

自分自身の将来設計をする上では、経験を振り返り自身の価値観を知ることが重要である。さらに社会にとって必要な人材について学ぶことで、これからの大学生活の過ごし方（基本的な生活習慣や態度、具体的な目標設定、コミュニケーション）を考え、計画・実行し、未来のキャリアに結びつけて考えるきっかけを作ることが本講義の目的である。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義およびグループワークを中心に展開します ※最低限のマナーとして、講義中の私語、携帯端末の無断利用、入退室は原則禁止します。（ワーク中の討論は大いに行ってください。）

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション・月間PDCAシート	授業の取り組み方と内容の確認、月毎の月間PDCAシート運用の仕方。	□
第2回	社会に出て働くということ	スティーブ・ジョブズの講話と、ジョン・D・クルンボルツの理論を参考に「社会に出て働くということはどういうことか。」を学びます。	□
第3回	職業選択のありかた	エドガー・シャインの「キャリア・アンカー」理論から、自分の働く価値観を知り、世の中の仕事についての調べも行う。	□
第4回	就職環境・雇用環境・待遇	前回調べた結果をもとに、実際に働く上での「環境」についての講義を行います。	□
第5回	ビジネスと企業の人材要件	社会人基礎力とは別に、企業や法人ごとの人材要件は違います。業種と職種・ビジネスの内容の違いによる違いを明らかにし、なぜ違いがあるのかを学びます。	□
第6回	自分を知る	ジョハリの窓を参考に、より自分を知るためのワーク（個人・グループ）を行います。自分をよりよく知るための客観的な視点を学びます。	□
第7回	自分を表現する	自己PRや大学時代の自分の取り組みを「自分のことを知らない人」に伝えるためには、テクニックが必要です。前回で知った自分自身を「伝える」にはどうするかを学びます。	□
第8回	ビジョン設計①	これから何をなすにしても「ビジョン」が明確になっていないと、必要な支援も得られないことがあります。この授業ではビジョンの重要性と設計の仕方を２週に渡って行います。	□
第9回	ビジョン設計②	これから何をなすにしても「ビジョン」が明確になっていないと、必要な支援も得られないことがあります。この授業ではビジョンの重要性と設計の仕方を２週に渡って行います。	□
第10回	グループディスカッションの技術①	今後必要になってくる「グループディスカッション」の種類や技術を学びます。	□
第11回	グループディスカッションの技術②	前回の内容を参考に、様々なグループディスカッションを体験していただきます。	□
第12回	企業分析と提案①	世の中の企業が属する「業種」について講義します。具体的な企業を２社選定し、企業分析の仕方をお伝えいたします。	□
第13回	企業分析と提案②	グループごとに企業の選定を行い、前回を参考に企業の分析をすすめ、新しいサービス（価値）の提案を作ります。	□
第14回	企業分析と提案③※採点対象です	前回のワークの内容を、グループごとのプレゼンテーションを行います。	□

第15回	後期まとめ・次年度へ向けてのコミットメント	後期全体のまとめ。次年度に向けての「決意表明」「具体的なビジョン」の策定を行います。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

日々の大学生活（授業、クラブ活動）、ボランティア活動、アルバイトの経験のなかでも、ただ過ごすのではなく「社会人基礎力」や「コミュニケーション」を意識すること。また目的意識や具体的な目標を掲げて行動すること。 これらについて各自常に記録する（3-4時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

受講レポート、ワークシートについて：添削・採点の後返却いたします。 発表について：その場でフィードバックし全体に共有します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。 ・授業内で行われる個人ワークやグループワークで主体性を発揮できること。 ・自己理解をすすめ他者に対して表現できること。 ・基本的なキャリア理論についての理解を深めること。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
30%	0%	0%	30%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

①月間PDCA実践シートの提出②受講レポートの提出③その他授業内で指示した各種提出物④プレゼンテーション

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		